



事業概要

オリジナルブランドアイスの製造・卸業を営む会社。省エネ診断を受けた建物は、工場及び作業場として使用されています。

 従業員数
62名

 令和6年度補正予算
工場・事業所
全体プラン
15,290 円

事業所全体の省エネ効果


エネルギー削減量
(原油換算値)

2.8 kl/年

CO₂削減量
5.9 t-CO₂/年

費用削減額
34.7 万円/年

※各値は、下記の提案内容の合計ではございません。

診断機関からのコメント

- ・現在、事業所のエネルギー使用量は原油換算で約86kl/年、CO₂排出量は約182t-CO₂/年です。
- ・提案数は全9件。費用をかけずに実施できる運用改善案が4件、設備投資案が5件です。
- ・まずは運用改善から取組んでいただくことをお勧めします。社員全体の省エネに対する意識向上につながることが期待できます。
- ・省エネ推進にあたってはエネルギーに関する管理体制の構築も有効です。エネルギー管理に関する提案もしているので参考にしてください。

ボイラ・給湯器

運用改善

投資改善

【提案内容】

- ・ボイラー配管に未保温の箇所がありました。保温材（グラスウールジャケット式）の施工によって配管からの放熱によるエネルギーロスを削減できます。
- ・ガス給湯器は設置後17年ほど経過しており、更新を検討する時期がきています。最新の高効率給湯器へ更新することをお勧めします。故障等のリスク回避のためにも計画的な更新が有効です。


0.4 kl/年

0.9 t-CO₂/年

5.2 万円/年

コンプレッサ

運用改善

投資改善

【提案内容】

- ・コンプレッサは吐出圧が高いほど大きな動力が必要です。吐出圧を確認した結果、0.8MPaでした。一般的な空気圧は0.5～0.7MPaのため、必要空気圧の確認をお願いします。
- ・コンプレッサは、エア漏れがあると直接エネルギーロスに繋がります。定期的な点検・メンテナンスを推奨します。


0.3 kl/年

0.6 t-CO₂/年

3.5 万円/年

冷凍冷蔵設備

運用改善

投資改善

【提案内容】

- ・冷凍冷蔵設備の設定温度は製品の品質において重要なファクターです。容易な庫内温度の変更は難しいと思いますが、仮に設定温度を緩和した際にどの程度の省エネ効果が期待できるか試算すると、原油換算値で0.11kl/年、費用削減額は1.4万円です。
- ・冷凍庫にカーテンを設置することで、効果的に外気を遮断できます。削減効果の試算は原油換算値で0.63kl/年、費用削減額は7.8万円です。


0.7 kl/年

1.5 t-CO₂/年

9.2 万円/年

その他の提案内容

上記の提案以外にも、受変電設備（アイス工場・ドリンク工場どちらも）を高効率型のものに更新することや、社員を巻き込み一部の権限を委譲した形で組織する省エネ管理体制の構築等もあわせてご提案します。省エネの取組を企業価値を高めながら、売上増進に役立てるために、ぜひご活用ください。

事業者様の声

地元の金融機関から紹介されて省エネ診断を受けました。以前から照明のLED化に取り組んでおり、省エネには高い関心を持っています。今回、省エネ診断を受けたことで、設備の運営方法や更新のタイミングについて、理解が深まりました。また、今回の結果を参考にガス給湯器を高効率給湯器へ更新しました。